



平成31年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成31年2月13日

上場会社名 極東産機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6233 URL <https://www.kyokuto-sanki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 頃安 雅樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 曾谷 雅俊 TEL 0791-62-1771
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年9月期第1四半期の業績（平成30年10月1日～平成30年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年9月期第1四半期	2,022	—	32	—	22	—	11	—
30年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年9月期第1四半期	2.08	—
30年9月期第1四半期	—	—

(注) 平成30年9月期の第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成30年9月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年9月期第1四半期	7,653	2,568	33.6
30年9月期	7,962	2,573	32.3

(参考) 自己資本 31年9月期第1四半期 2,568百万円 30年9月期 2,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
31年9月期	—	—	—	—	—
31年9月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年9月期の業績予想（平成30年10月1日～平成31年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,473	△1.5	167	△39.2	145	△42.9	87	△46.1	16.30
通期	9,400	4.3	477	12.6	440	15.4	264	△13.0	49.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年9月期1Q	5,391,000株	30年9月期	5,235,000株
② 期末自己株式数	31年9月期1Q	－株	30年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年9月期1Q	5,341,826株	30年9月期1Q	－株

(注) 平成30年9月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成30年9月期第1四半期における期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、昨夏の豪雨や台風被害、地震等の自然災害の影響が一巡し、景況感に改善傾向が見られましたが、米中貿易摩擦の影響等海外情勢に不透明感が増したことによる景気動向への懸念等から、景気改善は緩やかなペースとなりました。

このような環境のもとで、当社は当期目標を達成すべく、新製品の開発や原価低減努力による売上総利益率の改善、業務の効率化を進めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高2,022百万円、営業利益32百万円、経常利益22百万円、四半期純利益11百万円となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

①プロフェッショナルセグメント

インテリア事業部門は新設住宅着工戸数が前年同期比で9月以降減少傾向を続けた影響等により、住宅工事の仕上げ段階で需要が発生する工具や施工用テープ等の消耗品の売上がやや低調に推移し、さらに糊付機等の機器の買い換え需要も弱くなりました。一方、畳事業部門は、平成29年度補正予算のものづくり補助金第二次採択結果が10月末に発表され、採択先への売上が順調に進捗しました。その結果、セグメント売上高は1,511百万円、営業利益は13百万円となりました。

②コンシューマセグメント

コンシューマ事業部門は、株式上場による知名度向上が追い風となって楽天市場「ニュー畳ライフ」での個人向け売上が増加したほか、フィットネスクラブ用吸音・防振床材「ジムボード」や「柔道畳」等特殊量の売上も順調に推移しましたが、ソーラー・エネルギー事業部門は、電力買取価格低下の影響で売上が減少しました。メガソーラー発電事業は順調に稼働しております。その結果、セグメント売上高は272百万円、営業利益は4百万円となりました。

③インダストリーセグメント

産業機器事業部門は、当期売上案件の受注は予定通り進捗しておりますが、売上時期が第2四半期以降となる案件が多く、当第1四半期の売上高は低調なスタートとなりました。食品機器事業部門につきましても、大手飲食チェーン等の省力化ニーズは引き続き活発で順調な受注状況ですが、売上時期が第2四半期以降となる案件が多く、当第1四半期の売上高は低調なスタートとなりました。その結果、セグメント売上高は238百万円、営業利益は14百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

当第1四半期会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べ308百万円減少し、7,653百万円となりました。資産のうち、流動資産は、棚卸資産が223百万円増加しましたが、売掛金が480百万円減少したこと等により、261百万円の減少となりました。固定資産につきましては、有形固定資産が18百万円減少、無形固定資産及び投資その他の資産が29百万円減少したことにより、47百万円の減少となりました。

②負債の部

当第1四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末に比べ303百万円減少し、5,085百万円となりました。負債のうち、流動負債は、未払法人税及びその他（消費税）等、賞与引当金が減少したこと等により、280百万円の減少となりました。固定負債につきましては、長期借入金が増加したこと等により、22百万円の減少となりました。

③純資産の部

当第1四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べ5百万円減少し、2,568百万円となりました。資本金が29百万円、資本剰余金が29百万円増加しましたが、利益剰余金が41百万円、その他有価証券評価差額金が22百万円の減少となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、平成30年11月13日の「平成30年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,555,108	1,546,352
受取手形及び売掛金	2,179,362	1,707,118
電子記録債権	600,844	584,047
商品及び製品	497,887	618,498
仕掛品	229,858	256,698
原材料及び貯蔵品	193,009	269,099
その他	22,282	33,673
貸倒引当金	△11,467	△9,798
流動資産合計	5,266,886	5,005,689
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,377,378	1,377,378
その他（純額）	897,682	879,474
有形固定資産合計	2,275,061	2,256,853
無形固定資産		
投資その他の資産	27,837	26,278
その他	395,929	366,944
貸倒引当金	△3,164	△2,189
投資その他の資産合計	392,764	364,755
固定資産合計	2,695,663	2,647,887
資産合計	7,962,550	7,653,577
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	997,357	982,362
電子記録債務	923,328	922,882
短期借入金	1,248,752	1,247,504
1年内返済予定の長期借入金	167,502	158,728
未払法人税等	79,613	5,567
賞与引当金	160,000	45,000
役員賞与引当金	12,920	1,600
その他	384,888	330,235
流動負債合計	3,974,361	3,693,879
固定負債		
長期借入金	839,082	808,174
退職給付引当金	258,577	261,650
役員退職慰労引当金	280,300	291,700
その他	36,367	29,955
固定負債合計	1,414,327	1,391,480
負債合計	5,388,688	5,085,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	602,050	631,112
資本剰余金	452,000	481,062
利益剰余金	1,450,143	1,408,878
株主資本合計	2,504,193	2,521,053
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	69,668	47,163
評価・換算差額等合計	69,668	47,163
純資産合計	2,573,862	2,568,217
負債純資産合計	7,962,550	7,653,577

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成30年10月1日 至平成30年12月31日)
売上高	2,022,335
売上原価	1,404,366
売上総利益	617,969
割賦販売未実現利益戻入額	1,026
差引売上総利益	618,996
販売費及び一般管理費	586,035
営業利益	32,960
営業外収益	
受取利息	117
受取配当金	135
スクラップ売却益	779
雇用調整助成金	810
その他	1,630
営業外収益合計	3,472
営業外費用	
支払利息	5,688
手形売却損	1,833
売上割引	3,995
新株発行費	2,271
その他	110
営業外費用合計	13,897
経常利益	22,534
税引前四半期純利益	22,534
法人税、住民税及び事業税	1,863
法人税等調整額	9,586
法人税等合計	11,449
四半期純利益	11,084

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年10月30日付で、SMBC日興証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期累計期間において資本金が29百万円、資本剰余金が29百万円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が631百万円、資本剰余金が481百万円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間（自 平成30年10月1日 至 平成30年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	
売上高	1,511,243	272,704	238,387	2,022,335
セグメント利益	13,186	4,789	14,984	32,960

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。